

読者アンケートへのご協力をお願いします!

いつも会報『育友』をご覧いただきありがとうございます。誌面作りの参考にさせていただきますので、アンケートのご協力をお願いします。右のQRコードから回答フォームにアクセスいただき、ご回答をお願いします。読者アンケートにご協力いただいた方の中から、先着で30名に大学公認の専大グッズを進呈いたします。11月18日(金)までにご回答ください。

会報『育友』の専修コミュニティへの投稿に興味のある方、シブコンスタッフに興味のある方は、読者アンケートフォームにあるチェック欄にしてください。



読者アンケートを参考に取上げた記事は、このマークをつけています。皆さんもご要望をお伝えください。(ご要望にお応えできないこともあります。)

回答はこちら

※ご入力いただいた個人情報は記載の目的以外には使用しません。
※住所変更が生じた場合は、ご子女から教務課窓口へお伝えください。



読者の声

170夏号を読まれた方から感想をいただきました。その一部をご紹介します。このコーナーに掲載された方には専大グッズを進呈いたします。

われらイキイキ専修人の山口恵理香さんのインタビュー記事は心に響きました。ご自身では「心が弱い」と述べておられますが、いじめの辛い経験から立ち直り、社会人生活での挫折からも立ち直ることができたのは、生きることに自分の軸をしっかりと持っておられるからだと思います。専修大学との出会い、そこでの学生生活も、山口さんの人生に色を添えているのだな、と感じられました。埼玉・Kさん

ご感想ありがとうございます。編集委員として、皆さまとの出会いを大切に誌面づくりを心がけてまいります。

大学生活が伝わる内容で、読んでいて楽しかったです。兄弟が別の大学に通っているのですが、白黒の新聞の発行だけで、学生生活があまり伝わらないものですので、『育友』のレベルの高さに毎回感動しています!千葉西・Oさん

ご愛読ありがとうございます。今後も皆さまに、楽しくお役立ていただける情報をお届けしてまいります。

コロナ禍であっても、少しずつ対面で行えることが増えてきて嬉しく思いました。そして、コロナ禍の学生達が何を必要としているかを知りたいと思います。援助できることがあるかもしれません。また、学食の人気メニューや、人気の本などの記事もあったらと思います。埼玉・Sさん

ご要望ありがとうございます。今号にて、学食と心に残る一冊の本を取材しました。是非ご感想をお聞かせくださいませ。

グラフ専修は、学生の普段の様子がかがえて、息子もこうして過ごしているのかなあと想像しています。「教えてあなたの〇〇」も学生らしくて微笑ましいです。フィルハーモニー管弦楽団は、活動再開できてよかったですね。聴いてみたいので、演奏会の情報を教えていただきたいです。東京 A・Kさん

お問い合わせありがとうございます。Twitter 公式アカウント「@sen_phil」のご確認をお願いいたします。

体育会ユニフォーム図鑑を拝見し、子どもだけでなく、親も専修大学の部活動を身近に感じることができました。せっかくなので、練習日、連絡先があると、コロナ禍で子ども達もなかなか交流ができないので、一つのきっかけになるかな、と思いました。『育友』は保護者だけでなく、子どもも興味を持てる編集がなされていて会話のきっかけになります。埼玉・Iさん

ご活用いただき、ありがとうございます。今後の編集の参考にさせていただきます。今後ともよろしく願いいたします。

体育会ユニフォーム図鑑を楽しく拝見。陸上競技部しか意識していなかったので興味深かったです。昨年、今年と箱根駅伝の活躍嬉しかったです。応援しています。神奈川東・Sさん

応援ありがとうございます。それぞれに活躍する学生の皆さまに、引き続きご声援よろしく願いいたします。

(担当:岡井仁編集委員)

編集後記

『育友』読者の皆さま、どの学年にあっても就活がとても気になりますね。就職懇談会は育友会ホームページで公開されており、私のお薦めとしては、卒業生や4年次生の動画です。コロナ禍においても、危機を乗り越える最前線で工夫をする学生の就活スタイルが伝わってきます。

我が国は、金融緩和政策、未曾有の円安の中、物価高に見舞われており、輸入原料・エネルギーの高騰が、日本企業の

稼ぐ形を大きく変えるかもしれません。また新たな政策も必要かもしれません。

次世代担い手である専大生は、こんな危機に対しても、きつと円安で高度経済成長した日本史も思い出し、粛々と構造変化を読み取り、業界研究を進め、熱い自己PRができていますと感じました。

是非、学生との日常会話に、無理のない範囲で、ご父母・保護者の皆さまの就活ネタを織り込んでみてはいかがでしょうか。『育友』では、今後も就活コンテンツを提供してまいります。(担当:澤部光太郎編集委員)